

LIXIL 樹の木皿モダンデッキフェンス 取付説明書

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号 記号の意味



警告

- 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。



注意

- 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号



ポイント

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。



- 取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。



補足

- 説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

<施工の前に>



注意

- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。
- ブロック施工はできません。
- ステップ笠木を取付ける場合、柱位置に制約がありますので必ず「ステップ取付説明書〈E243〉」を参照してください。
- フェンスは隣地境界線を目的に設置するものです。防護柵や手すり等としては使用しないでください。
- 開き戸を取付けることはできません。
- 施工プランと必要部材が揃っているか確認してください。
- 施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
 - ・作業服および保護具（保護帽、安全帯、眼、耳、手、足の保護具）を正しく使用してください。
 - ・作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。
特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
 - ・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
 - ・作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
 - ・作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分確認し、健康管理を実施してください。
 - ・万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
- 取付説明書の指示通りに組付けてください。製品の強度の低下、材料破損をする場合があります。
- 製品の表面に付着したモルタルやコンクリートなどは、速やかに拭き取ってください。

■ 梱包明細表

【1】 中間・端部柱セット（ベース仕様）

名 称	略 図	員 数	
		T-8	T-10
中間・端部柱（ベース仕様）		1	1
笠木取付部品（中間・端部柱用）		1	1
【1-1】φ4×13ナベドリルネジ		4	4
【1-2】φ4×20サラタッピン2種 G=5 D=6		4	4

【3】 中間・端部柱セット（埋込仕様）

名 称	略 図	員 数	
		T-8	T-10
中間・端部柱（埋込仕様）		1	1
笠木取付部品（中間・端部柱用）		1	1
【3-1】φ4×13ナベドリルネジ		4	4
【3-2】φ4×20サラタッピン2種 G=5 D=6		4	4

【2】 90度コーナー柱セット（ベース仕様）

名 称	略 図	員 数	
		T-8	T-10
90度コーナー柱（ベース仕様）		1	1
笠木取付部品（90度コーナー柱用）		1	1
【2-1】φ4×13ナベドリルネジ		4	4
【2-2】φ4×20サラタッピン2種 G=5 D=6		4	4

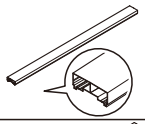
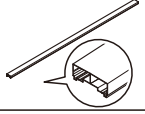
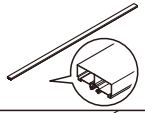
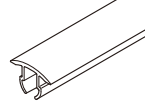
【4】 90度コーナー柱セット（埋込仕様）

名 称	略 図	員 数	
		T-8	T-10
90度コーナー柱（埋込仕様）		1	1
笠木取付部品（90度コーナー柱用）		1	1
【4-1】φ4×13ナベドリルネジ		4	4
【4-2】φ4×20サラタッピン2種 G=5 D=6		4	4

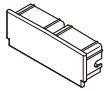

【5】 ベースプレートセット

名 称	略 図	員 数			
		大引き 固定用	床板 固定用	床板補強材 固定用	土間 固定用
ベースプレート		1	1	1	1
フェンスー 大引き固定アングル		2	—	—	—
フェンス固定アングル		—	2	—	—
【5-1】φ4×13ナベドリルネジ		4	—	—	—
【5-2】φ5×60ナベドリルネジ		6	5	6	—
【5-3】M5×60トラス小ネジ		—	2	—	—
【5-4】φ4×40ナベタッピン2種 G=5		4	4	4	4
【5-5】M10×25六角ボルト		—	—	—	4
【5-6】M10バネ座金		—	—	—	4
【5-7】M10平座金		—	—	—	4
【5-8】M10×40グリップアンカー		—	—	—	4

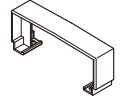

【6】 笠木セット

名 称	略 図	員 数		
		1スパン用	2スパン用	ステップ用
モダン笠木1スパン用		1	—	—
モダン笠木2スパン用		—	1	—
モダンステップ笠木		—	—	1
モダンステップ笠木 溝塞ぎ材		—	—	1

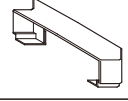

【7】 笠木端部キャップセット

名 称	略 図	員 数
笠木端部キャップ		2
【7-1】φ4×12トラスタッピン1種		4
取付説明書〈E291〉	—	1
取扱説明書〈U007〉	—	1

【8】 笠木中間部カバーセット

名 称	略 図	員 数
笠木中間部カバー		1
【8-1】φ4×13サラドリルネジ D=6		2




【9】 笠木90度コーナー部カバーセット

名 称	略 図	員 数
笠木コーナーカバー		1
【9-1】φ4×13サラドリルネジ D=6		2

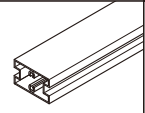
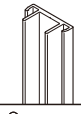


【10】 ベースプレートカバーセット

名 称	略 図	員 数
ベースプレートカバー		2
【10-1】φ4×8サラタッピン3種 D=6		4





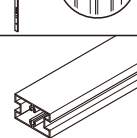
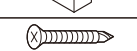
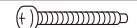
【11】 ストライプパネルセット

名 称	略 図	員 数	
		T-8	T-10
ストライプパネル		1	1
【11-1】φ4×19サラドリルネジ D=6		6	8
【11-2】φ4×30サラタッピン3種 D=6		2	2

【12】 フラットラインパネルセット

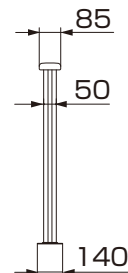
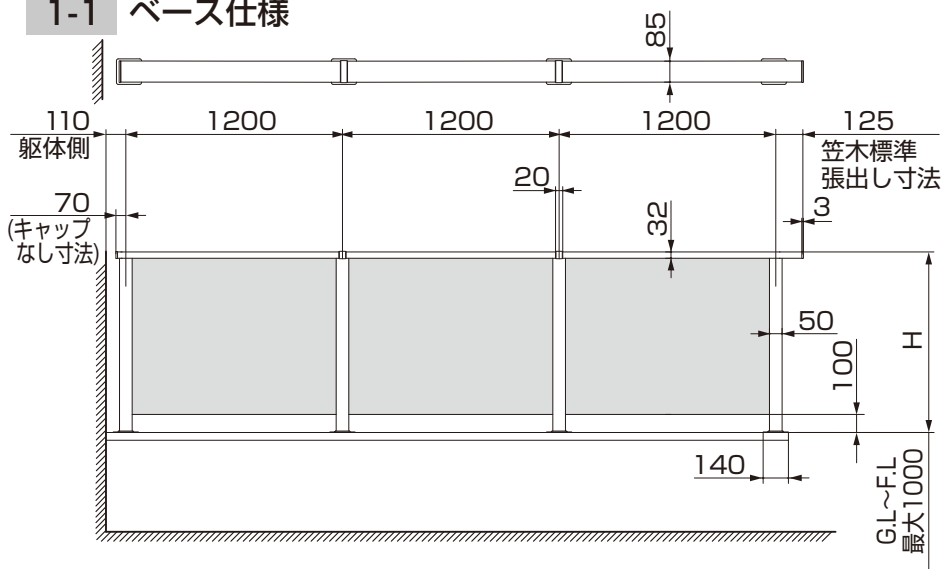
名 称	略 図	員 数	
		T-8	T-10
フラットライン 横棧		2	3
フラットライン 側枠		2	2
【12-1】φ4×19サラドリルネジ D=6		6	8
【12-2】φ4×20ナベタッピン2種 G=5		8	12

【13】スラッシュラインパネルセット

名 称	略 図	員 数	
		T-8	T-10
スラッシュライン 斜め棧 T-8		1	—
スラッシュライン 斜め棧 T-10		—	1
スラッシュライン 側枠A T-8		1	—
スラッシュライン 側枠A T-10		—	1
スラッシュライン 側枠B T-8		1	—
スラッシュライン 側枠B T-10		—	1
スラッシュライン 下棧		1	1
ネジ台座A		2	2
ネジ台座B		2	2
【13-1】φ4×19サラダリルネジ D=6		8	10
【13-2】φ4×20ナベタッピン2種 G=5		4	4
【13-3】φ4×30ナベタッピン2種 G=5		4	4

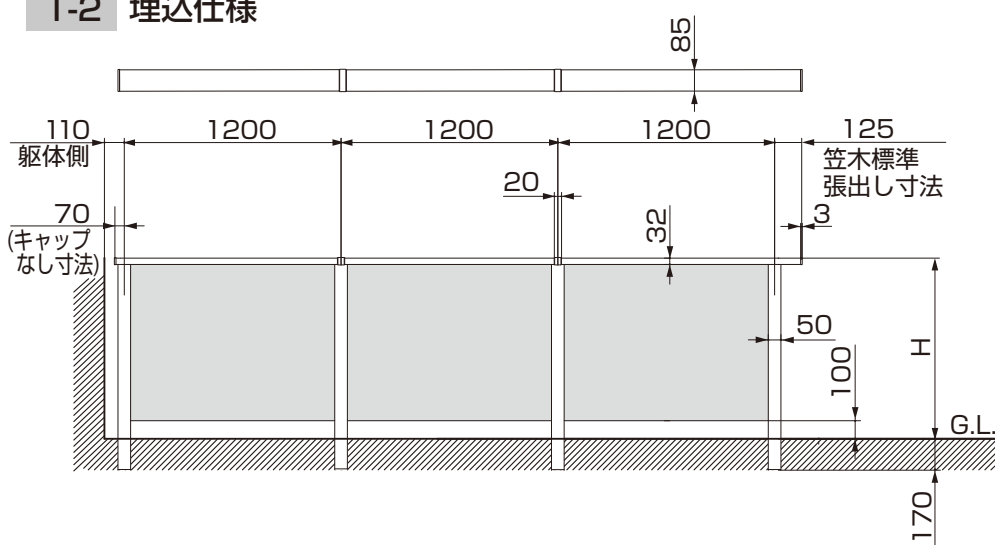
1. 基本寸法図

1-1 ベース仕様



呼称	H寸法
T-8	800
T-10	1000

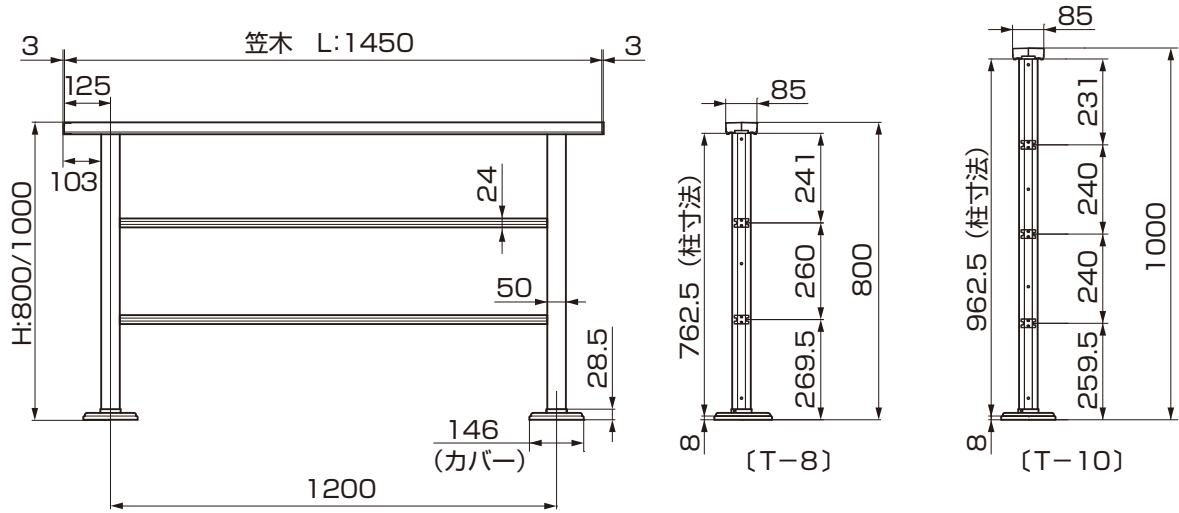
1-2 埋込仕様



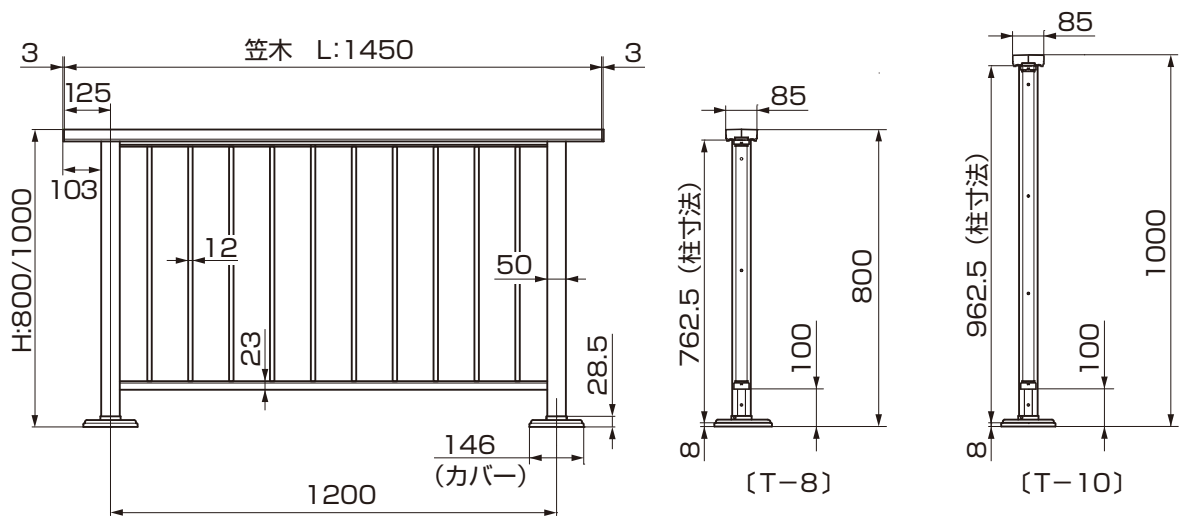
呼称	H寸法
T-8	800
T-10	1000

1. (つづき)

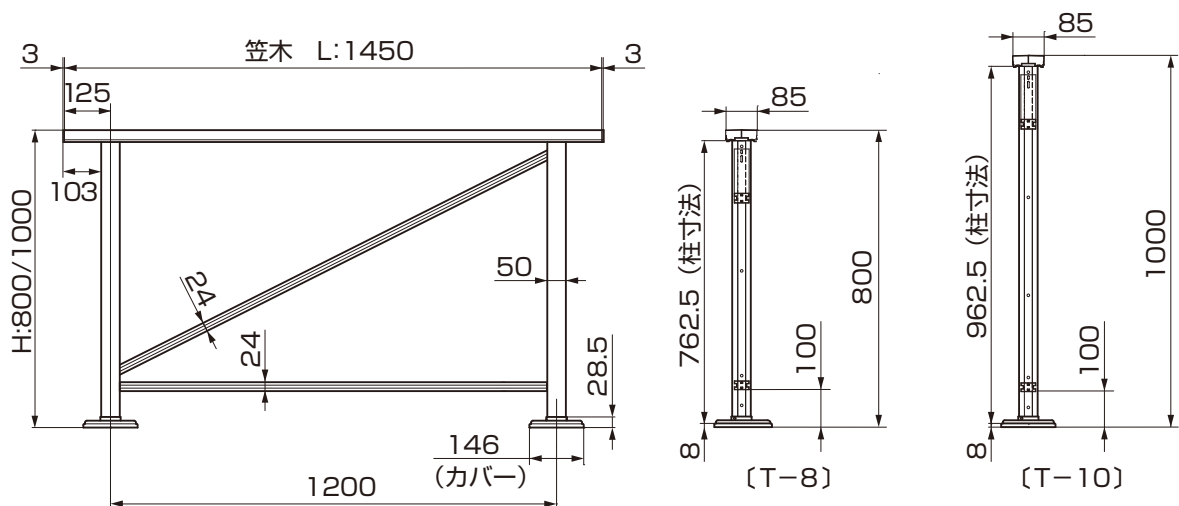
1-3 フラットラインパネル (横棧) の場合



1-4 ストライプパネル (縦格子) の場合

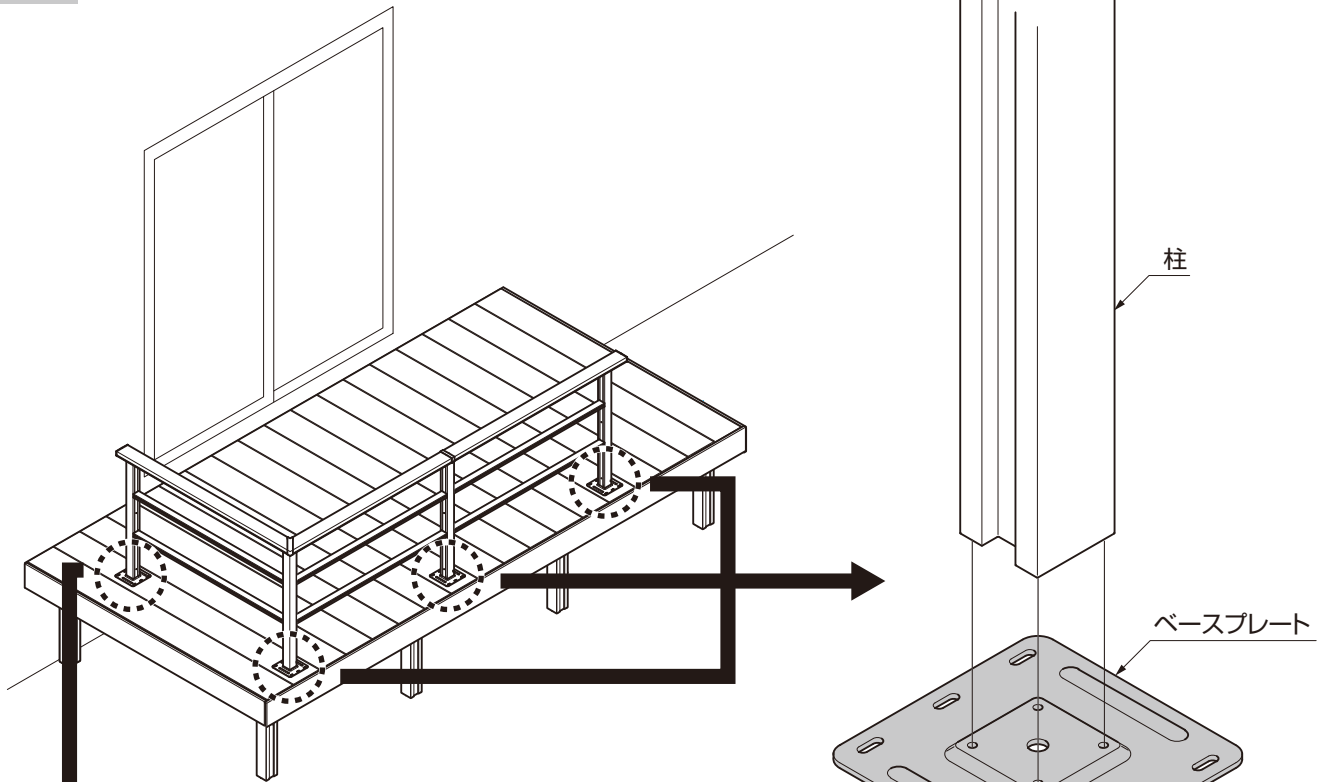


1-5 スラッシュラインパネル (斜め棧) の場合



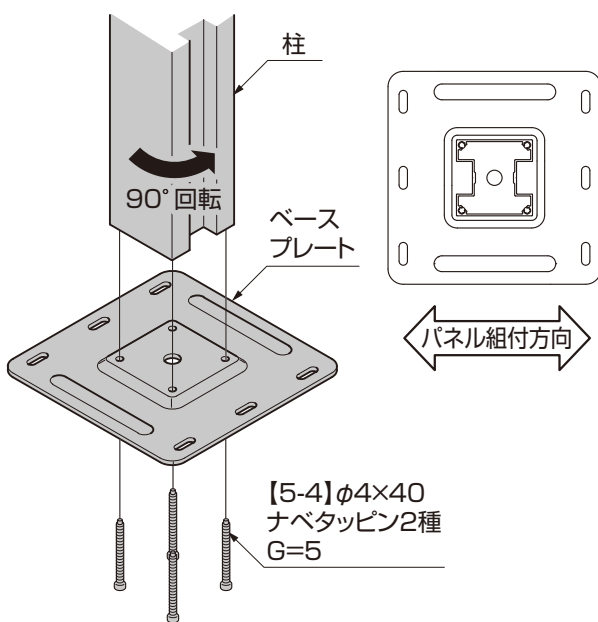
2. 柱の準備

2-1 笠木用主柱(ベース仕様)の場合



① ベースプレートの裏側から柱に、4ヶ所【5-4】、90度コーナー柱は【5-4】で、ベースプレートの向きに注意して固定してください。

ポイント

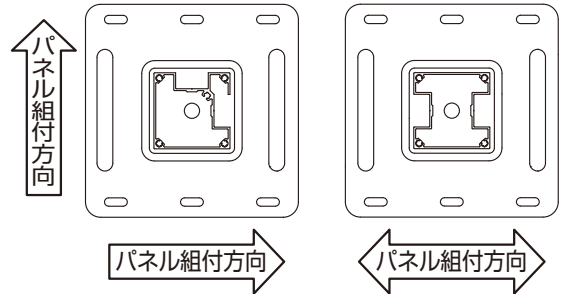


● デッキ側面側に固定する柱は、90度回転して、【5-4】で固定してください。

【5-4】φ4×40
ナベタッピン2種
G=5

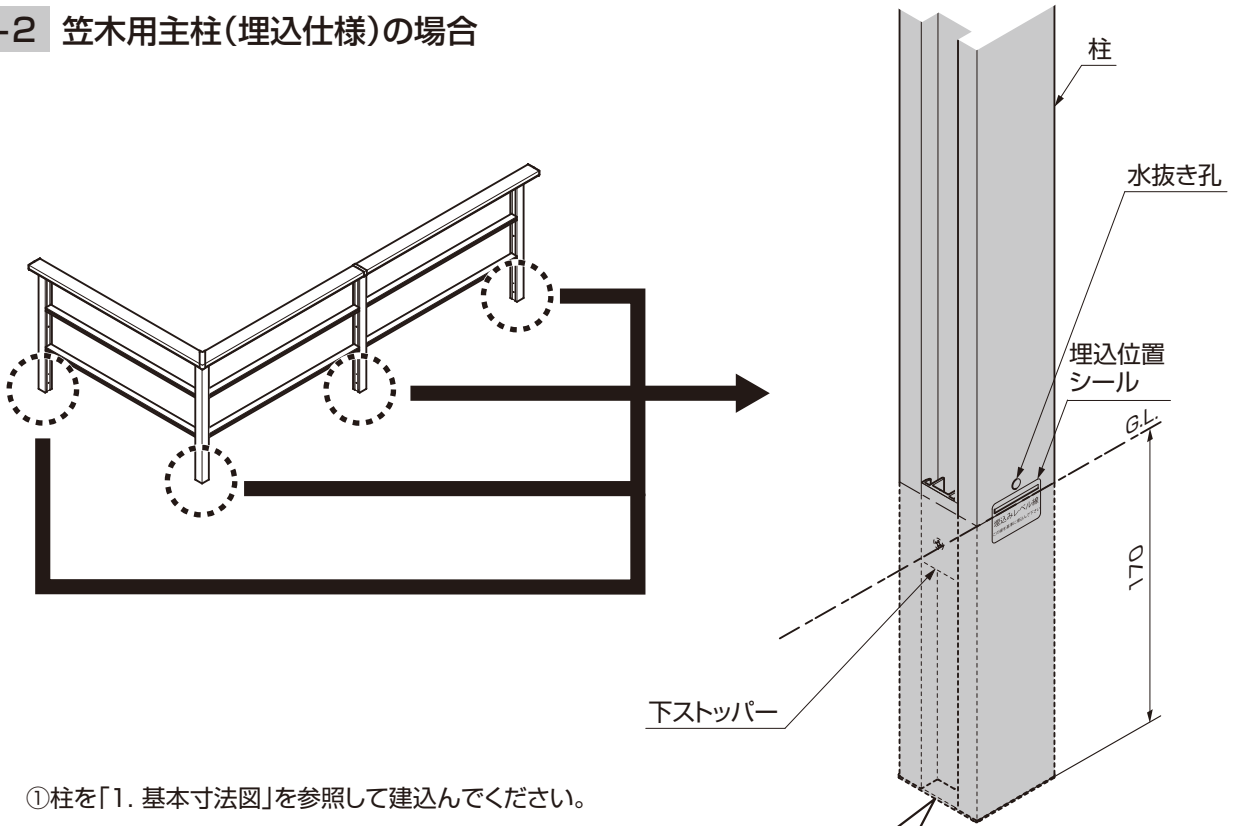
90度コーナー柱
(ベース仕様)

中間・端部柱
(ベース仕様)



2. (つづき)

2-2 笠木用主柱(埋込仕様)の場合

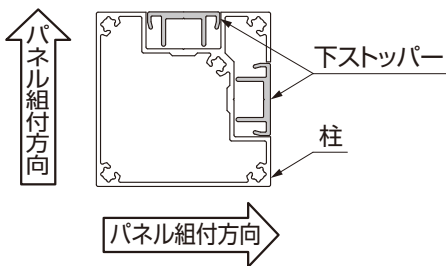


①柱を「1. 基本寸法図」を参照して建込んでください。

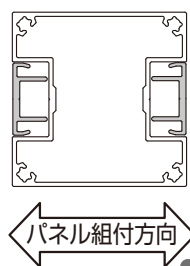
ポイント

- 柱の向きに注意してください。
- 柱を固定するカイモノ等は現場で調達してください。

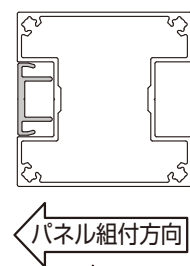
90度コーナー柱 (埋込仕様)



中間柱 (埋込仕様)

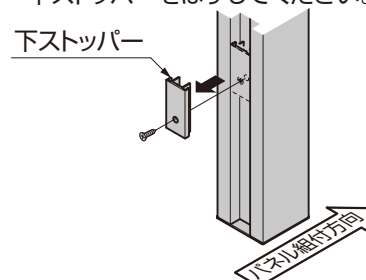


端部柱 (埋込仕様)



ポイント

- 端部柱のフェンスを取付けない面からは、下ストッパーをはずしてください。



3. 柱の組付け ※ステップ笠木を取付ける場合、柱位置に制約がありますので必ず「ステップ取付説明書(E243)」を参照してください。

3-1 ベース柱

(1) 正面床板固定の場合

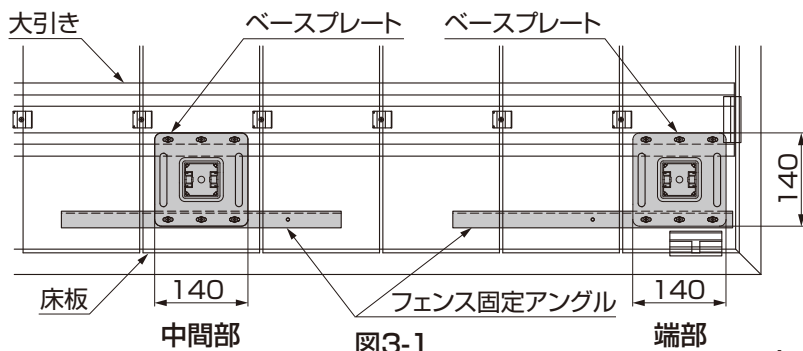
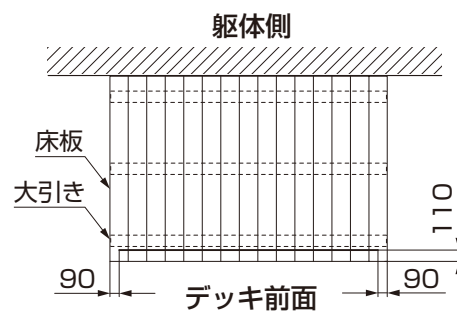


図3-1



柱設置可能範囲（柱芯寸法）

図3-2

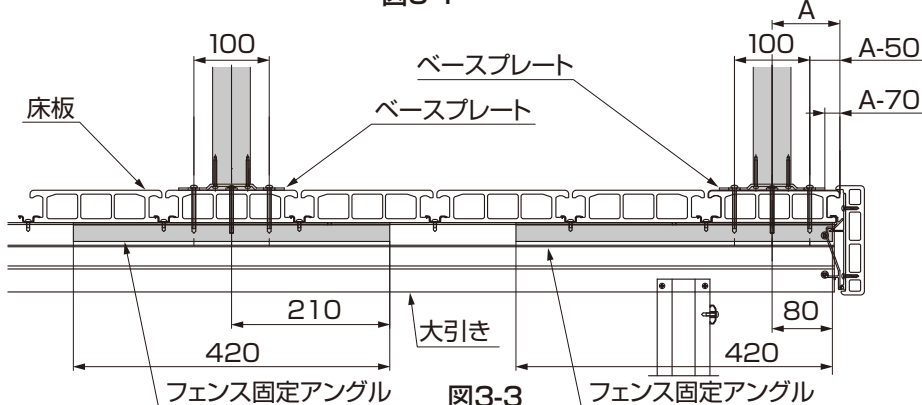


図3-3

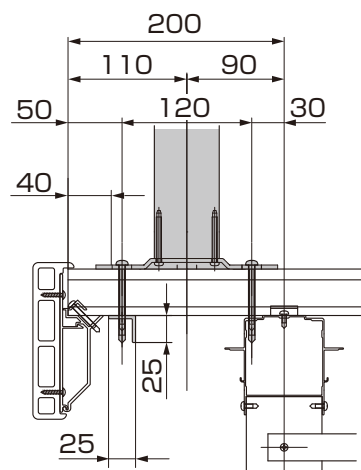


図3-4

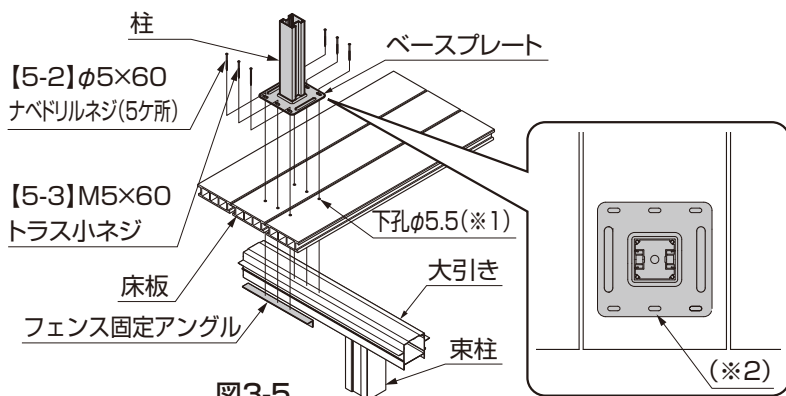
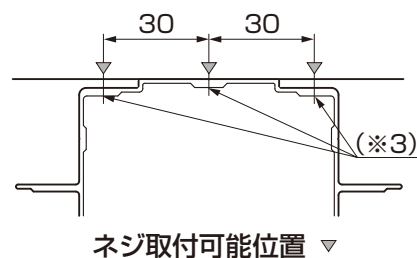


図3-5



ネジ取付可能位置 ▼

図3-6

①柱の固定位置を決めてください。

ポイント

- デッキの中間部に立てる場合、端部に立てる場合には、図3-1、図3-2、図3-3、図3-4を参照して取付けてください。
- 図3-3のA寸法値の最小値は90mmです。
- 図3-3のA寸法の最大値は、フェンス固定アングルに手が届く約400mmの範囲内で自由に設定することができます。

②ネジ位置をマーキングしてください。

③マーキングした床板にφ5.5の下孔をあけてください。(※1)

注意

- 強度確保のため、大引きにネジを取付ける際は、必ず図の位置3ヶ所(※3)へ取付けてください。

④ベースプレートを【5-2】で、床板の下の大引きまで3ヶ所取付けてください。

⑤デッキ前面の中心の下孔とフェンス固定アングルの孔を合わせて、ベースプレートを【5-3】で取付けてください。(※2)

⑥【5-2】で、床板の下にフェンス固定アングルをあてて2ヶ所取付けてください。

3. (つづき)

(2) 正面大引き固定の場合

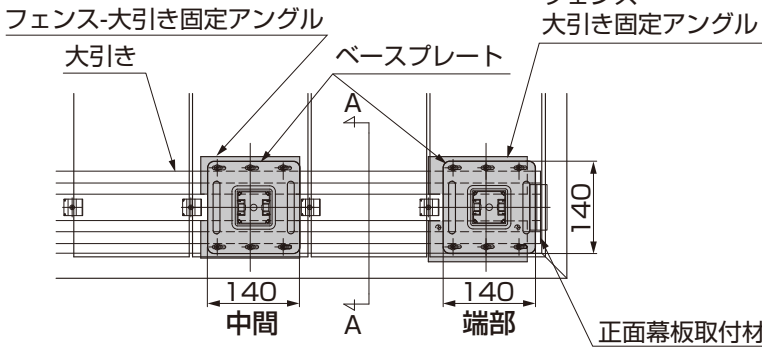


図3-7

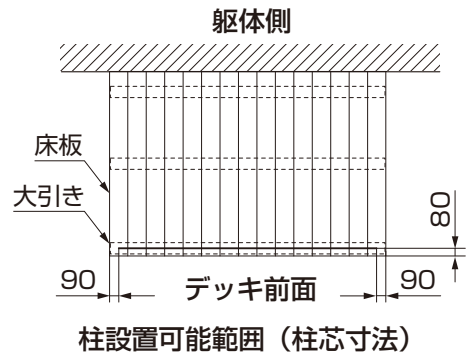


図3-8

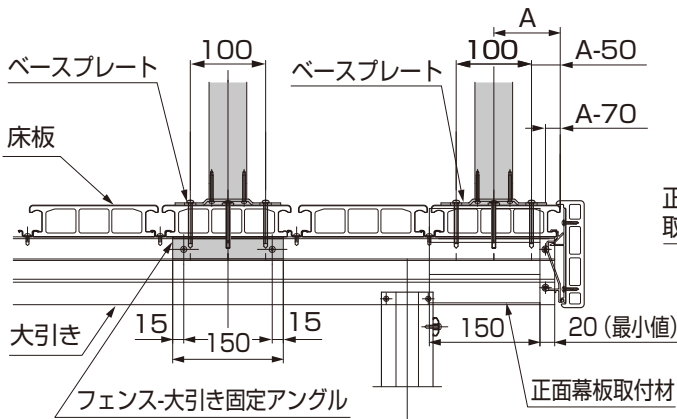


図3-9

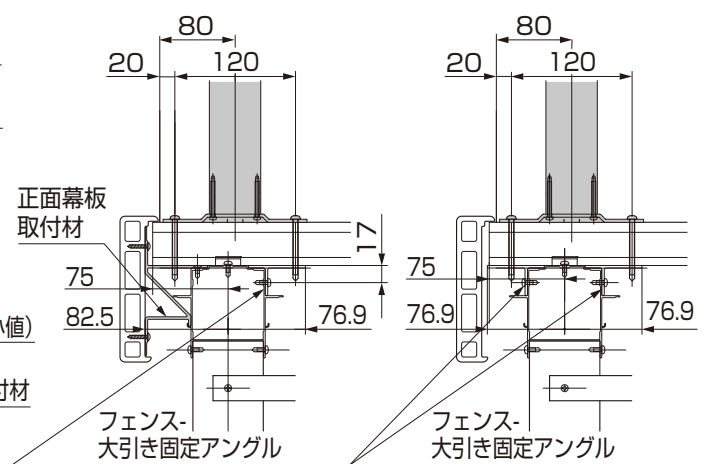


図3-10 A-A矢視図

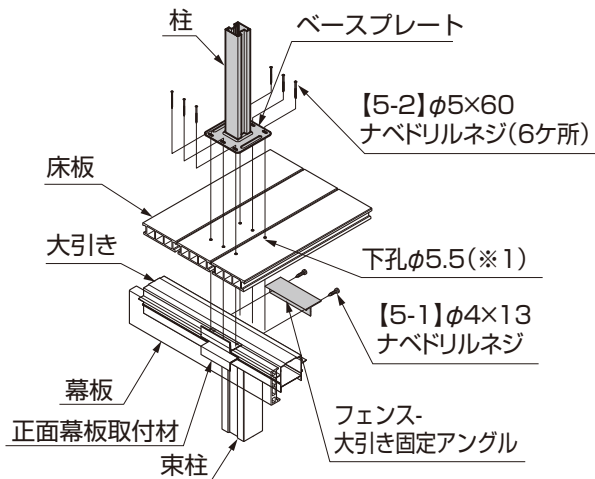


図3-11 端部

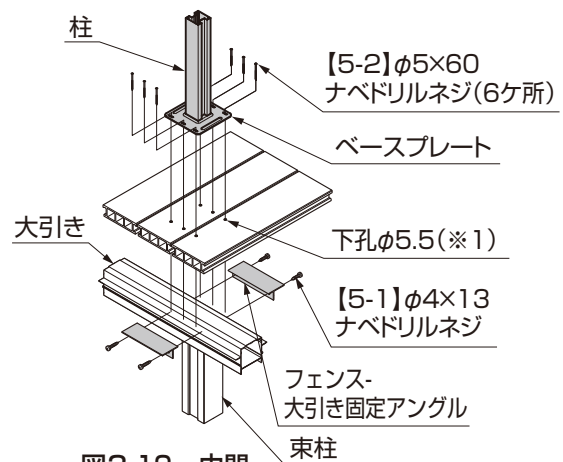


図3-12 中間

①柱の固定位置を決めてください。

ポイント

- デッキの中間部に立てる場合、端部に立てる場合には、図3-7、図3-8、図3-9、図3-10を参照して取付けてください。
- 図3-9のA寸法値の最小値は90mmです。
- 図3-9のA寸法の最大値は、フェンス-大引き固定アングルに手が届く約400mmの範囲内で自由に設定することができます。

- ②ネジ位置をマーキングしてください。
- ③マーキングした床板に、φ5.5の下孔をあけてください。(※1)
- ④大引きにフェンス-大引き固定アングルを、[5-1]で取付けてください。
- ⑤ベースプレートを[5-2]で、床板の下の正面幕板取付材またはフェンス-大引き固定アングルまで取付けてください。

(3) 側面床板固定の場合

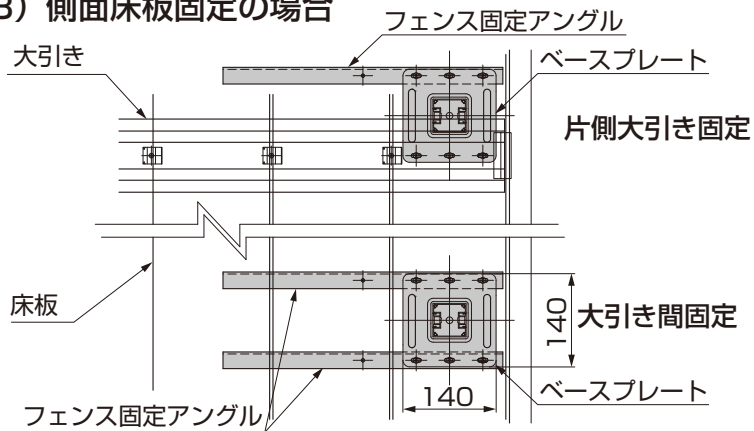


図3-13

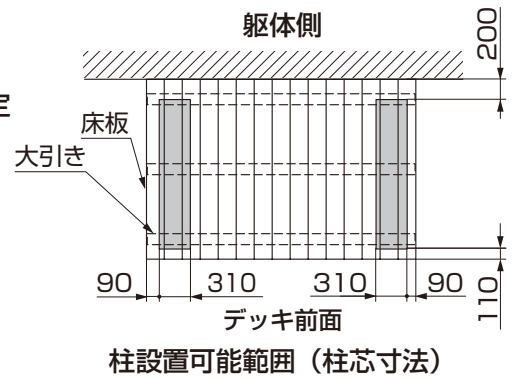


図3-14

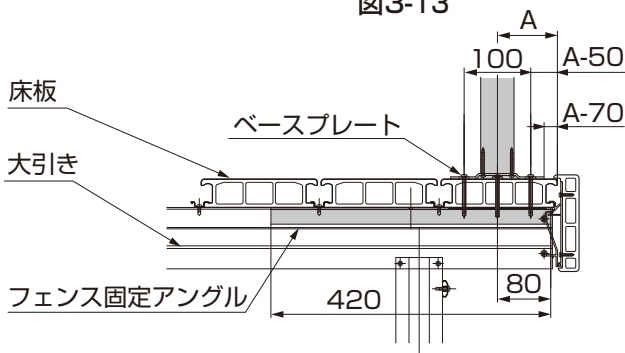


図3-15

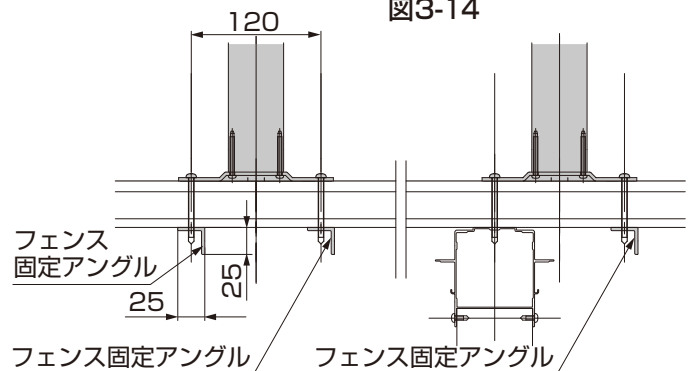


図3-16

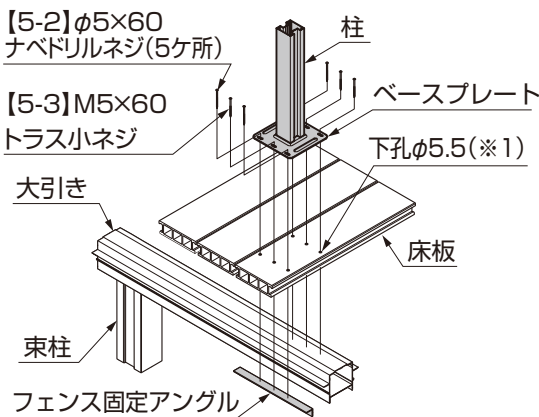


図3-17 片側大引き固定

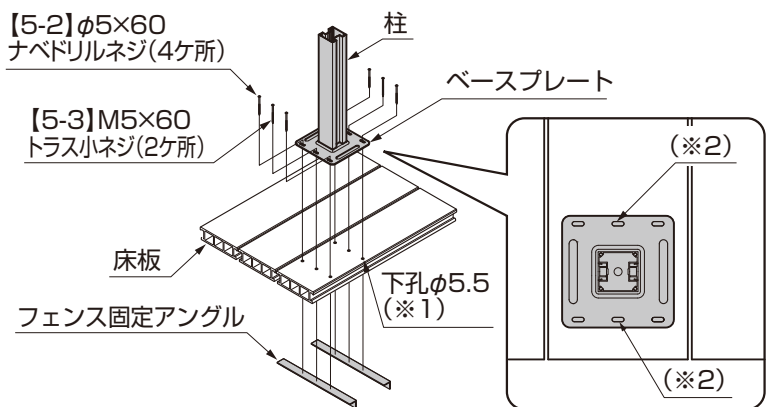


図3-18 大引き間固定

①柱の固定位置を決めてください。

ポイント

- 片側を大引きに固定して立てる場合、大引き間に立てる場合には、図3-13、図3-14、図3-15、図3-16を参照して取付けてください。
- 図3-15のA寸法値の最小値は90mmです。
- 図3-15のA寸法の最大値は、フェンス固定アングルに手が届く約400mmの範囲内で自由に設定することができます。

②ネジ位置をマーキングしてください。

③マーキングした床板にφ5.5の下孔をあけてください。(※1)

④片側大引き固定の場合は、「3-1 ベース柱 (1) 正面床板固定の場合」の端部への取付けを参照してください。

⑤大引き間固定の場合、デッキの中心の下孔と、フェンス固定アングルの孔を合わせて、ベースプレートを【5-3】で2ヶ所取付けてください。(※2)

⑥ベースプレートを【5-2】で、床板の下にフェンス固定アングルをあてて4ヶ所取付けてください。

3. (つづき)

(4) 側面床板補強材固定の場合

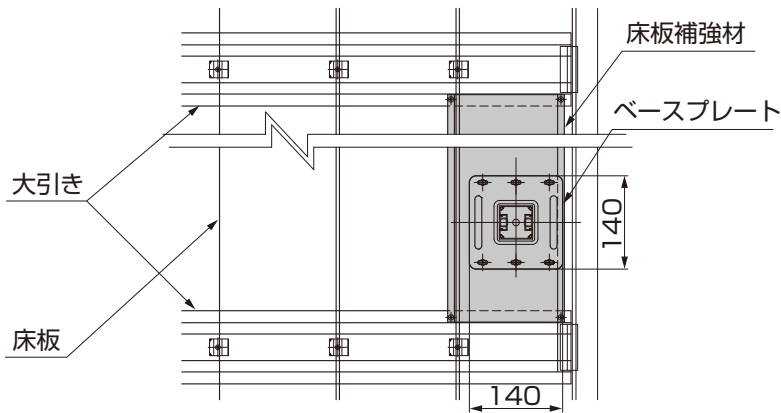


図3-19

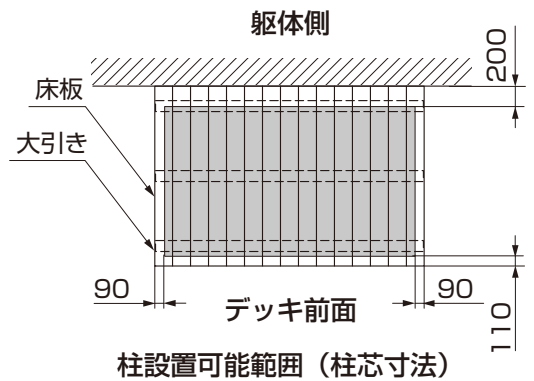


図3-20

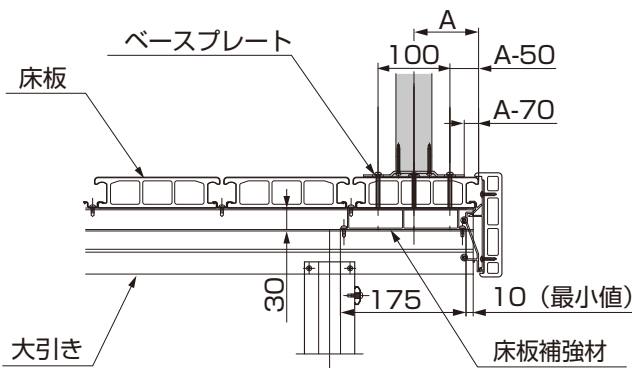


図3-21

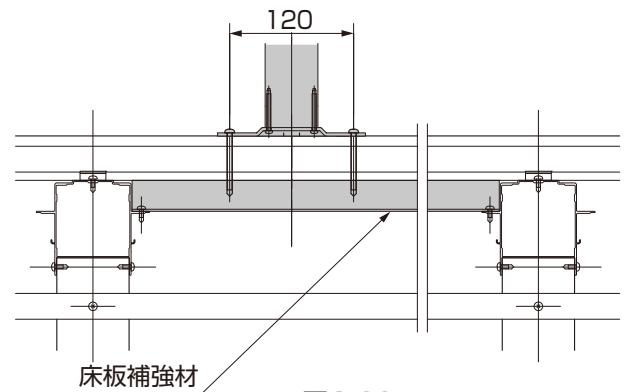


図3-22

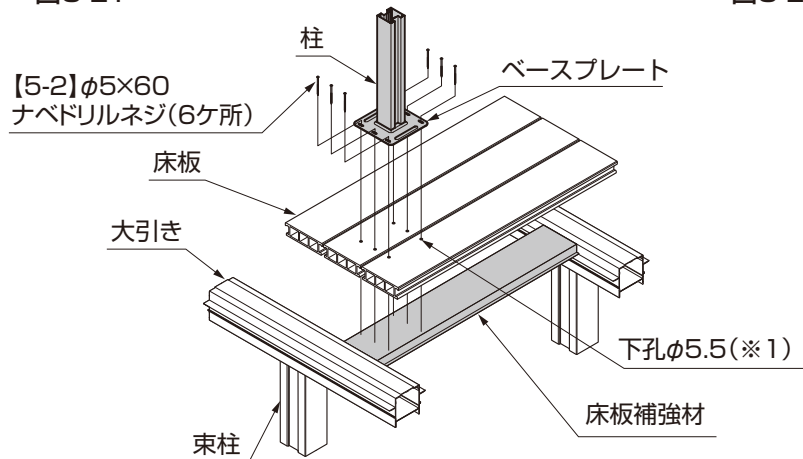


図3-23

①柱の固定位置を決めてください。

ポイント

- デッキ施工前に補強材を取付けてください。
- デッキに図3-19、図3-20、図3-21、図3-22を参照して取付けてください。
- 図3-21のA寸法値の最小値は90mmです。
- 図3-21のA寸法の最大値は、フェンス固定アングルに手が届く約400mmの範囲内で自由に設定することができます。
- 柱を立てる床板の下に床板補強材があることを確認してください。

②ネジ位置をマーキングしてください。

③マーキングした床板にφ5.5の下孔をあけてください。(※1)

④ベースプレートを【5-2】で、床板の下の床板補強材まで取付けてください。

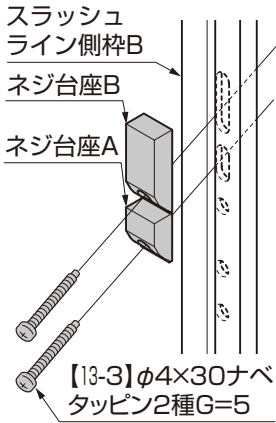
4. スラッシュラインパネルの取付け

①図のとおり側枠Aと、側枠Bに下線を【13-2】で固定してください。

ポイント

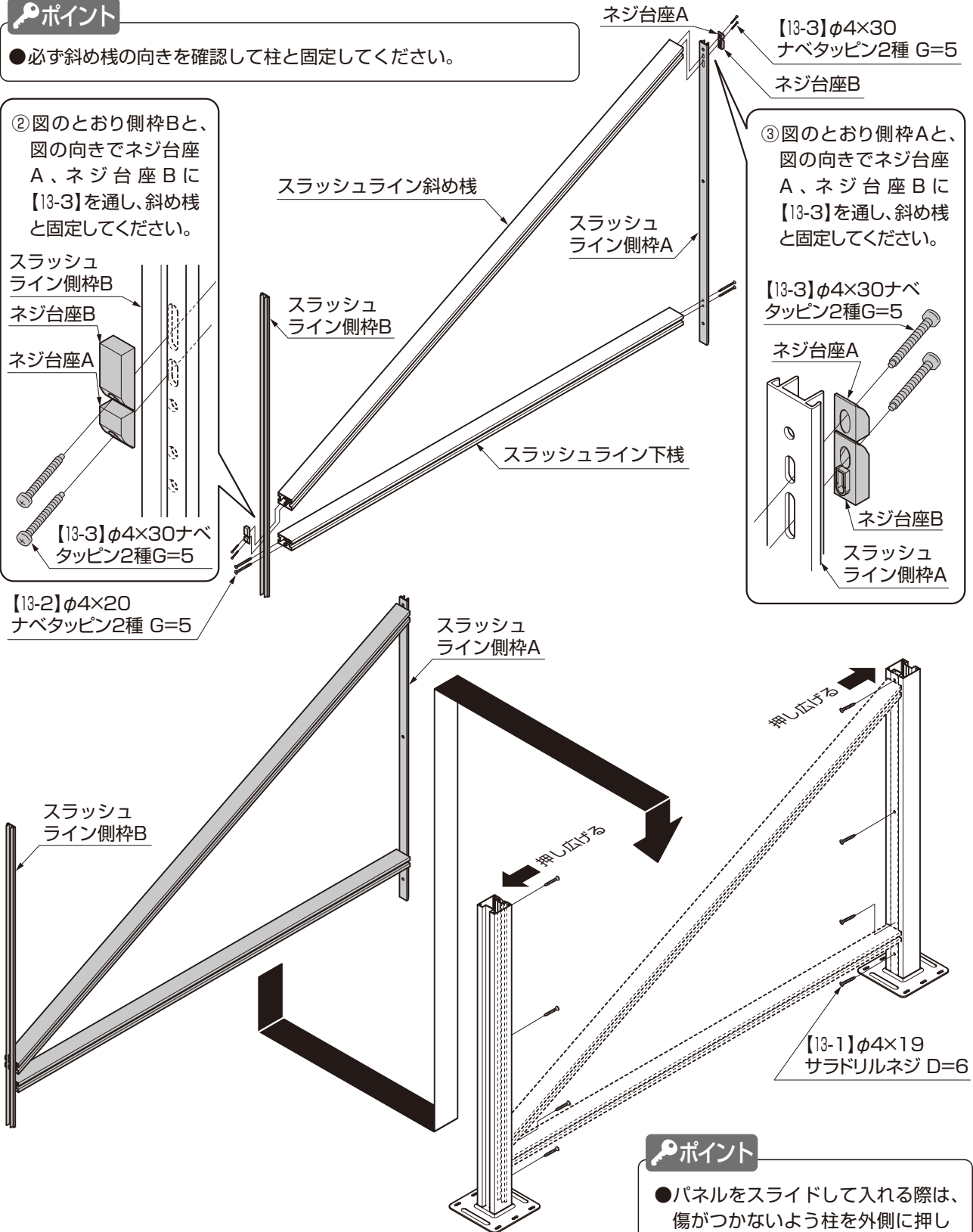
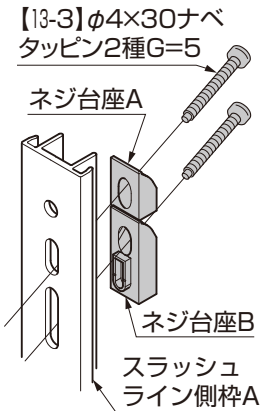
●必ず斜め棧の向きを確認して柱と固定してください。

②図のとおり側枠Bと、図の向きでネジ台座A、ネジ台座Bに【13-3】を通し、斜め棧と固定してください。



【13-2】φ4×20
ナベタッピン2種 G=5

③図のとおり側枠Aと、図の向きでネジ台座A、ネジ台座Bに【13-3】を通し、斜め棧と固定してください。

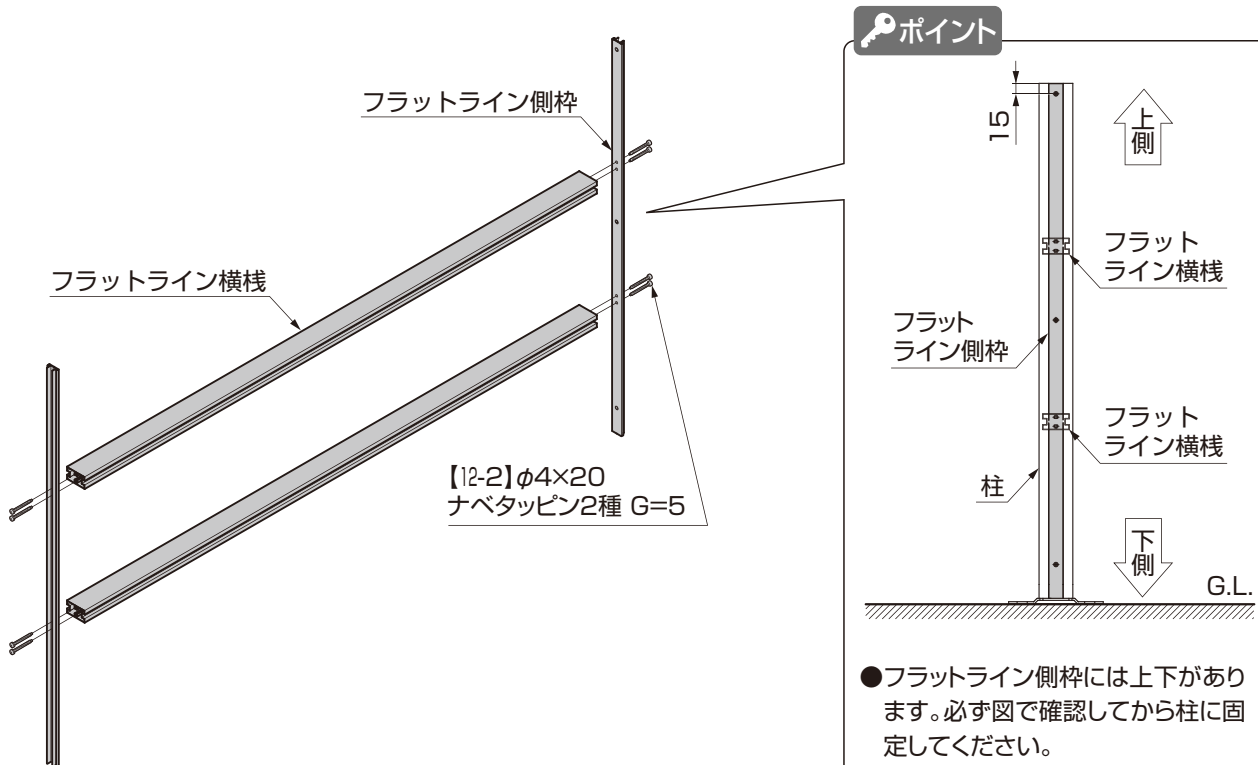


④柱にスラッシュライン側枠A、Bを【13-1】で固定してください。

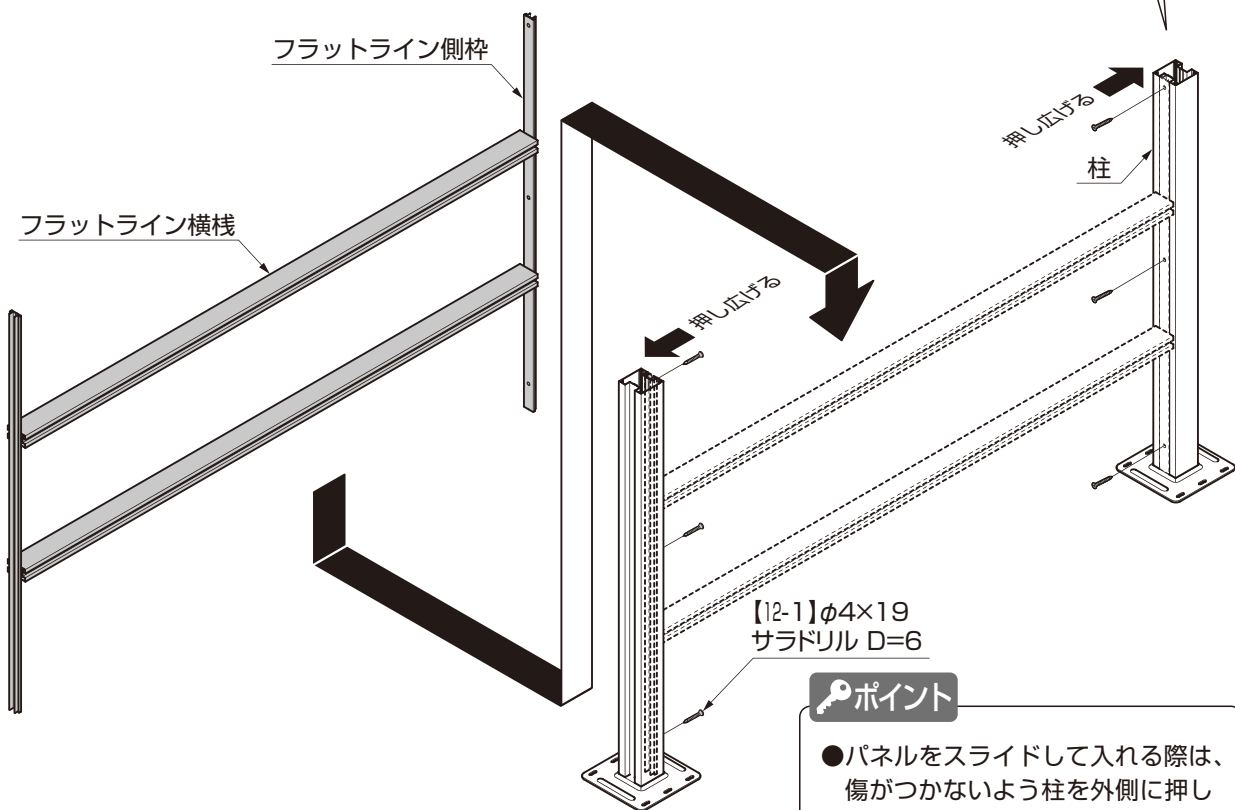
ポイント

●パネルをスライドして入れる際は、傷がつかないように柱を外側に押し広げて取り付けてください。

5. フラットラインパネルの取付け

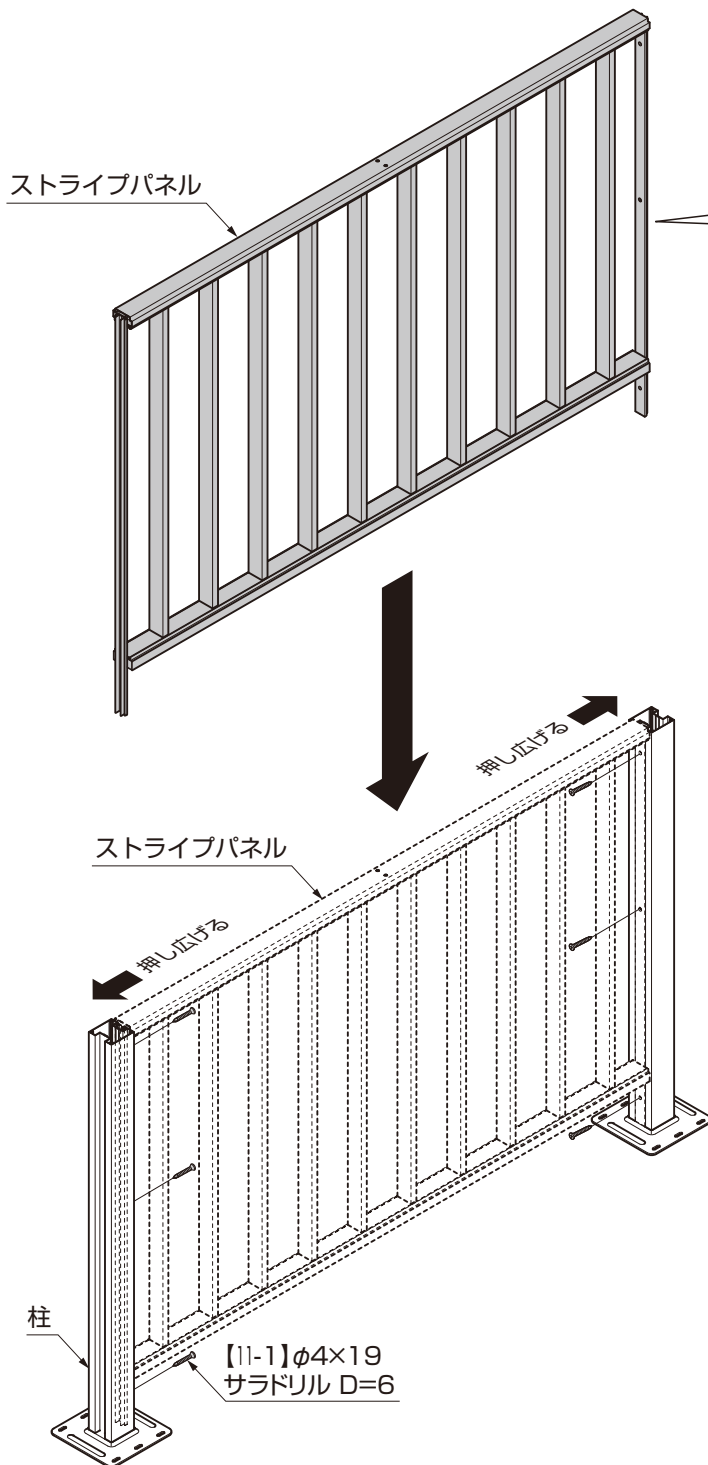


① フラットライン側枠とフラットライン横棧を【12-2】で固定してください。



② 柱にフラットライン側枠を【12-1】で固定してください。

6. ストライプパネルの取付け

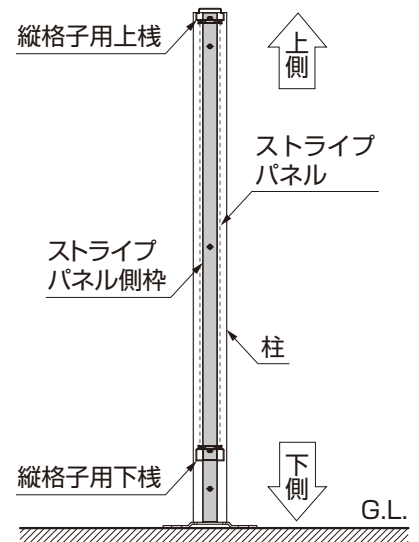


①柱にストライプパネルを【11-1】で固定してください。

ポイント

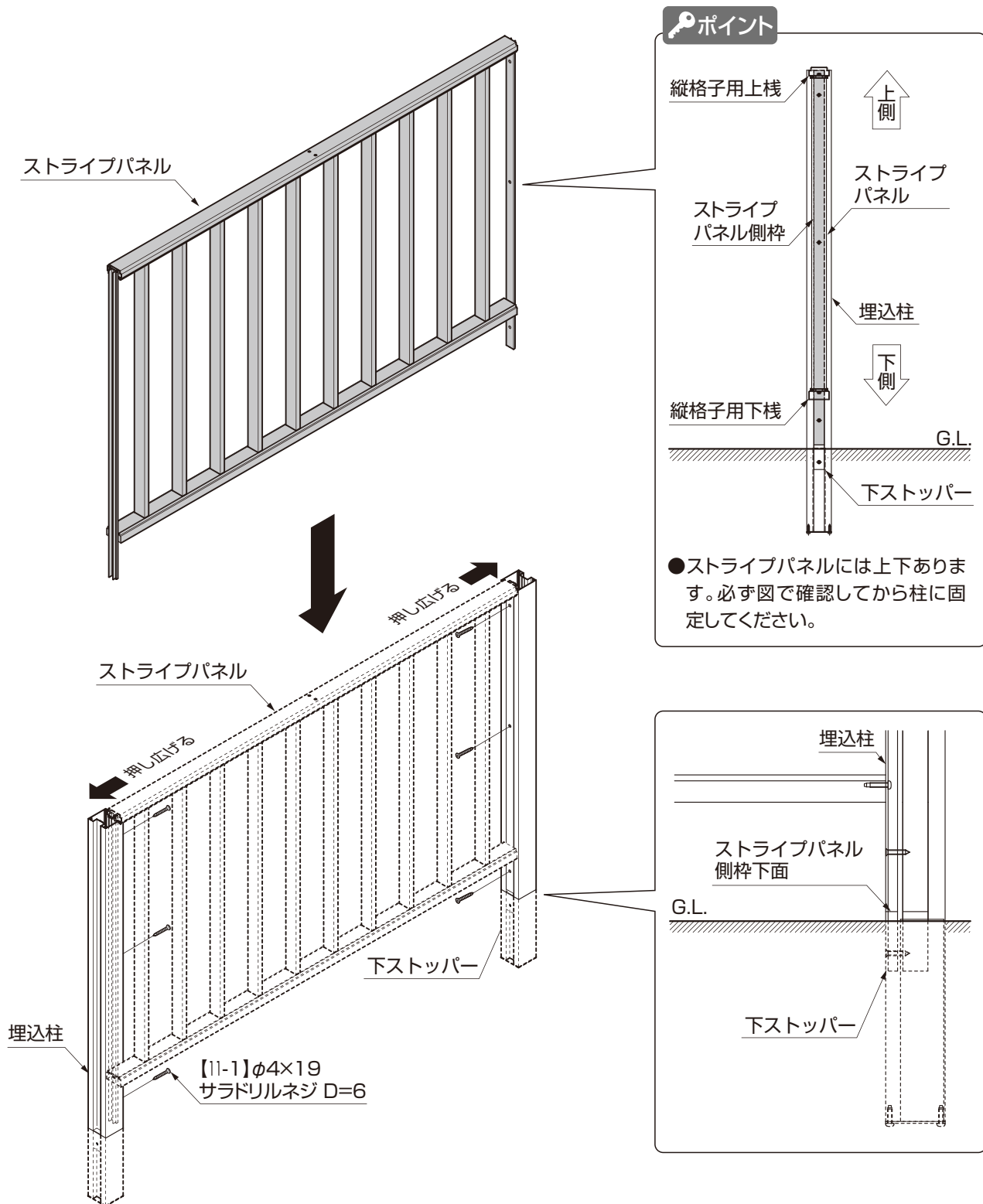
- パネルをスライドして入れる際は、傷つかないように柱を外側に押し広げて取付けてください。
- ストライプパネルを柱に取付ける際は、必ずロングビットを使用して固定してください。

ポイント



- ストライプパネルには上下があります。必ず図で確認してから柱に固定してください。

7. 埋込柱仕様へのパネルの取付け

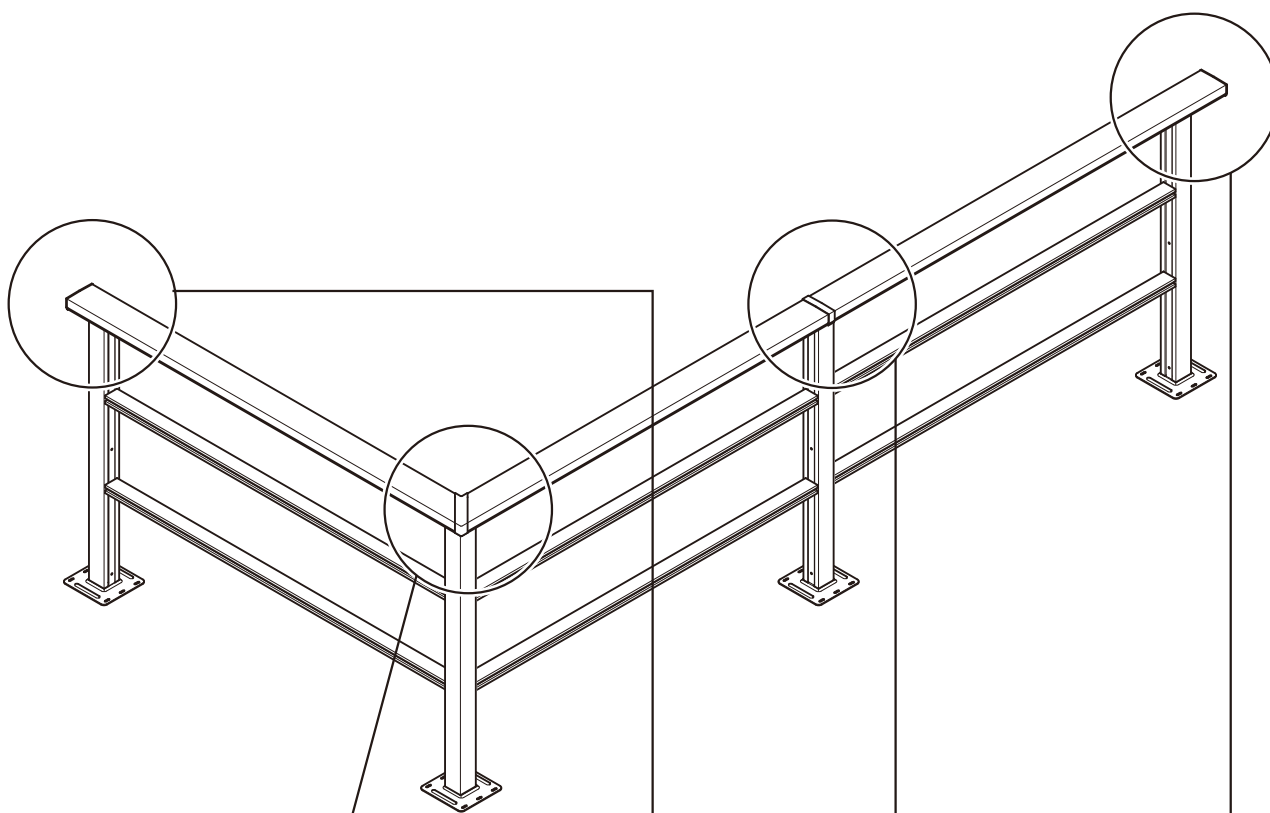


①埋込柱の下ストッパー上面に、ストライプパネル側枠下面を載せて、【11-1】で固定をしてください。

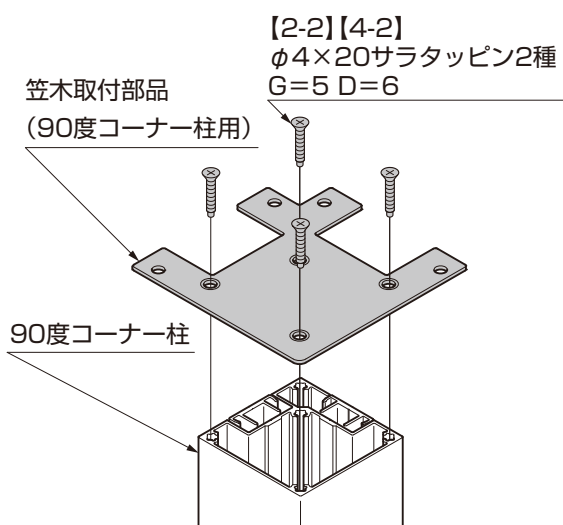
ポイント

- パネルをスライドして入れる際は、傷がつかないように柱を外側に押し広げて取付けてください。
- ストライプパネルを柱に取付ける際は、必ずロングビットを使用して固定してください。

8. 笠木取付部品の取付け

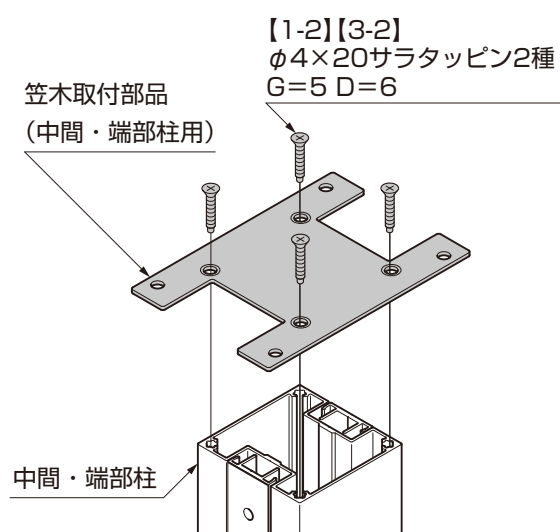


8-1 90度コーナー柱の場合



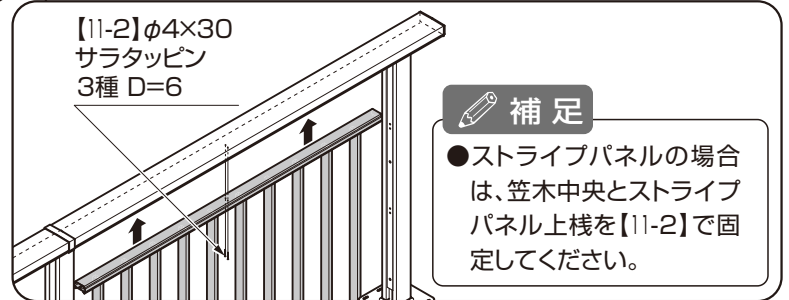
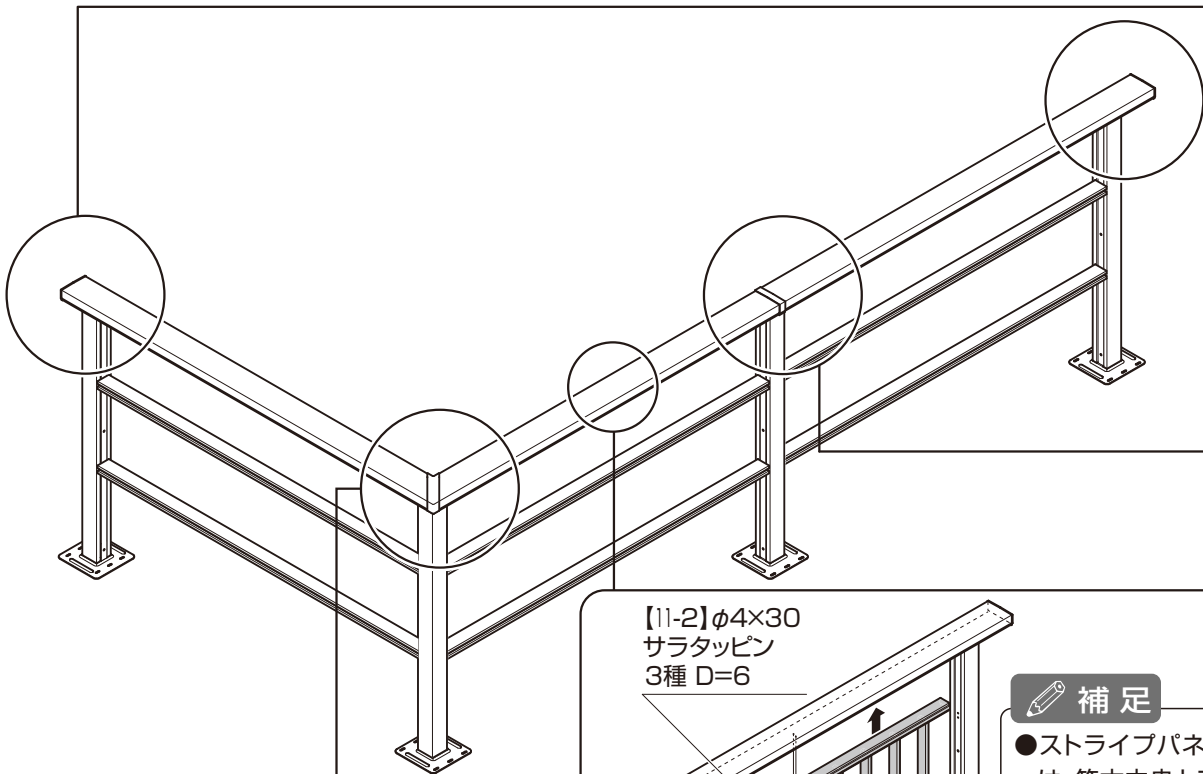
①笠木取付部品(90度コーナー柱用)を【2-2】、【4-2】で柱に固定してください。

8-2 中間・端部柱の場合



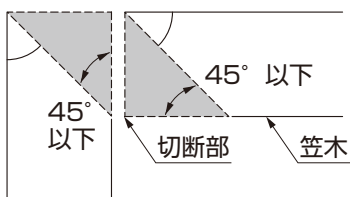
①笠木取付部品(中間・端部柱用)を【1-2】、【3-2】で柱に固定してください。

9. 笠木の取付け

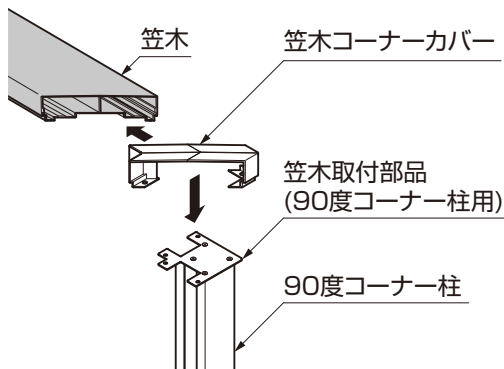


9-1 90度コーナー部の場合

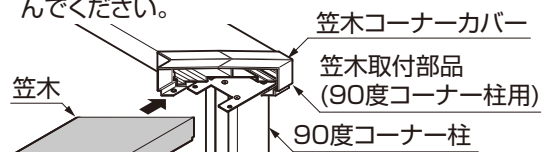
①笠木の加工は、端部を45度カットしてください。



②一方の笠木に笠木コーナーカバーをはめ込み、コーナー柱のコーナー部に合わせて取付けてください。



③もう一方の笠木をスライドさせて笠木コーナーカバーにはめ込んでください。

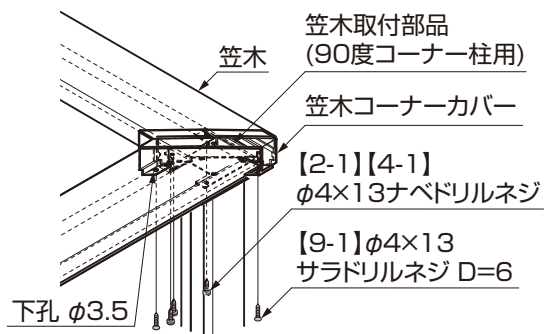


④笠木取付部品のネジ位置にそって笠木にφ3.5の下孔をあけてください。

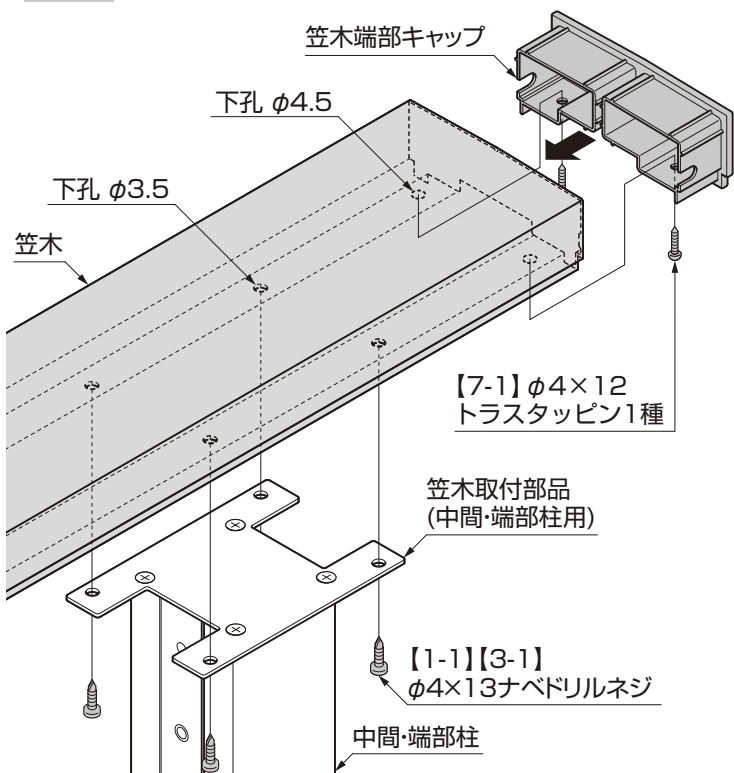
⑤笠木を笠木取付部品に【2-1】【4-1】で固定してください。

⑥笠木コーナーカバーのネジ位置にそって笠木にφ3.5の下孔をあけてください。

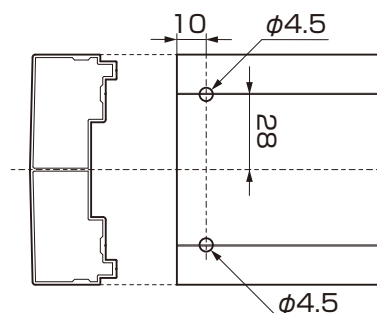
⑦笠木に笠木コーナーカバーを【9-1】で固定してください。



9-2 端部の場合



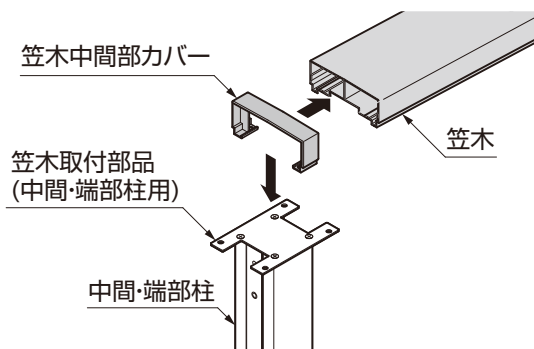
- ① 笠木取付部品のネジ位置にそって笠木にφ3.5の下孔をあけてください。
- ② 笠木を笠木取付部品に【1-1】【3-1】で固定してください。
- ③ 笠木裏側の中心から各々28mmの位置にあるV溝上で、端部から10mmの位置に2カ所、φ4.5の下孔をあけてください。



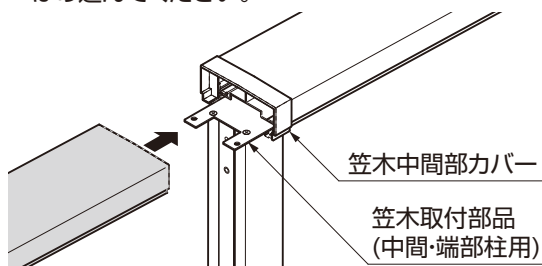
- ④ 笠木に笠木端部キャップを【7-1】で固定してください。

9-3 中間部の場合

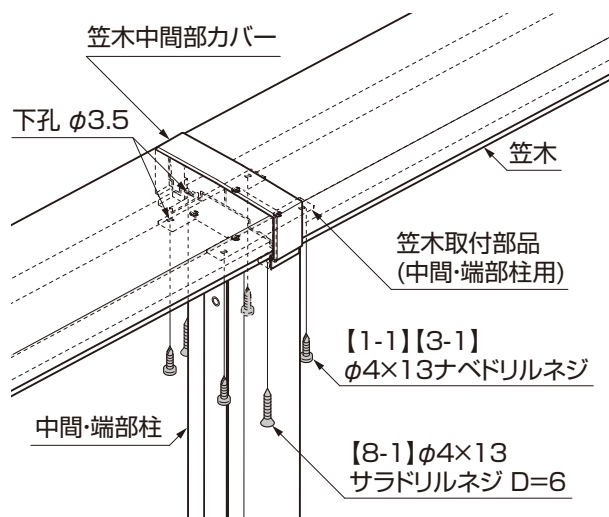
- ① 一方の笠木の端部に笠木中間部カバーをはめ込み、中間・端部柱の中心部に合わせて取付けてください。



- ② もう一方の笠木をスライドさせて笠木中間部カバーにはめ込んでください。

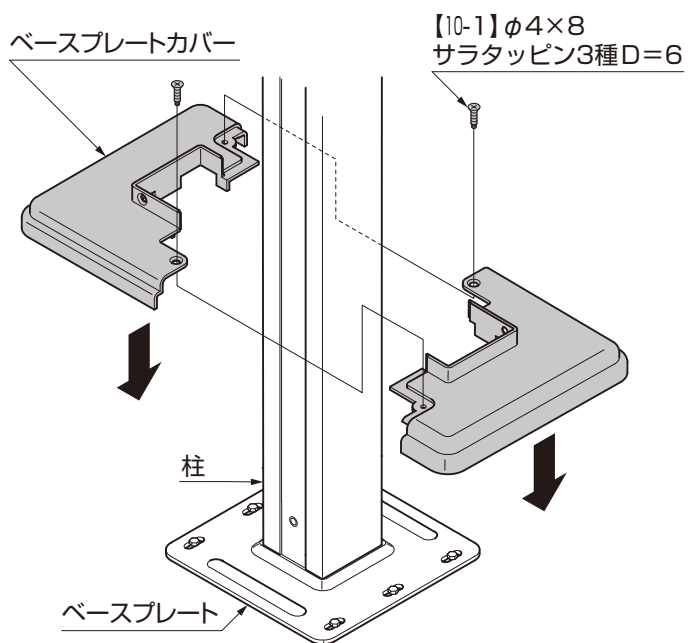
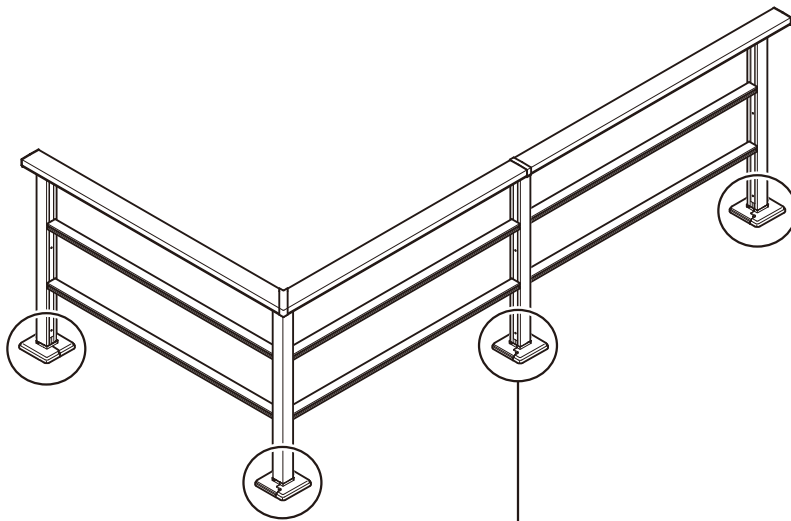


- ③ 笠木取付部品のネジ位置にそって笠木にφ3.5の下孔をあけてください。
- ④ 笠木を笠木取付部品に【1-1】【3-1】で固定してください。
- ⑤ 笠木中間部カバーのネジ位置にそって笠木にφ3.5の下孔をあけてください。
- ⑥ 笠木に笠木中間部カバーを【8-1】で固定してください。

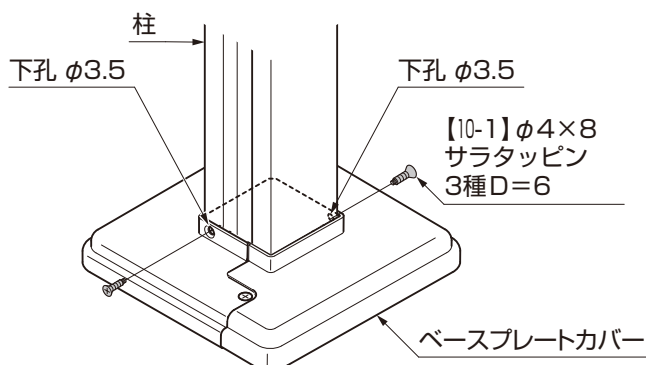


10. ベースプレートカバーの取付け

※図はフラットラインパネル（横棧）の場合を示しています。



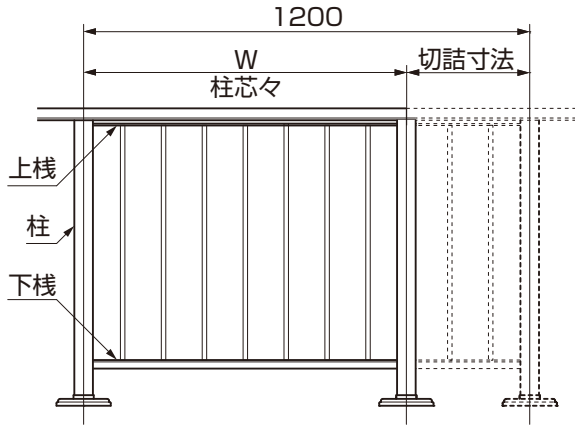
- ① ベースプレートカバーを図の向きで柱を囲むように組んでください。
- ② 【10-1】でカバー同士を固定してください。



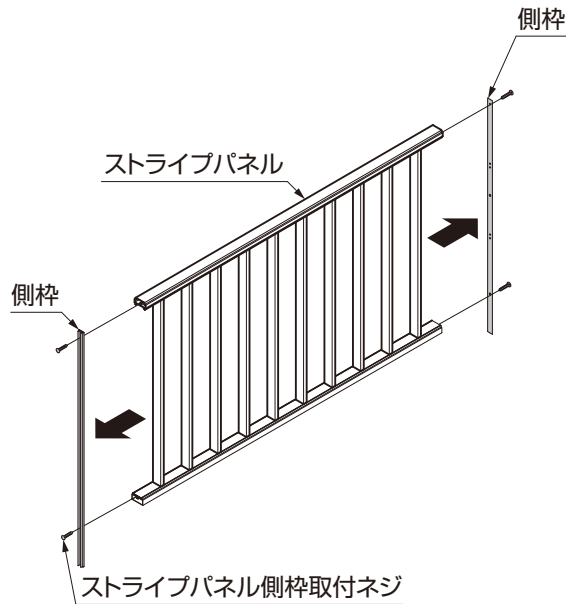
- ③ 柱にベースプレートカバーのネジ位置にそってφ3.5の下孔をあけてください。
- ④ ベースプレートカバーを柱に【10-1】で固定してください。

11. パネルの幅切詰め

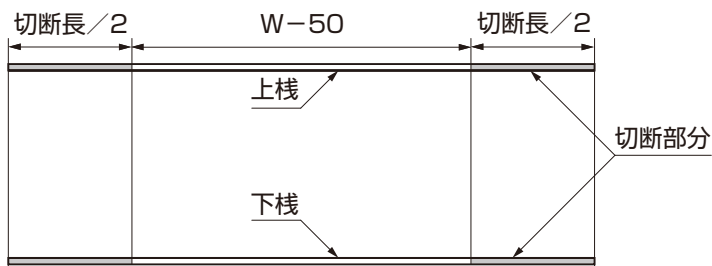
11-1 ストライプパネルの幅切詰め



①切詰める寸法の柱ピッチを実測してください。



②ストライプパネル両端の側枠を取りはずしてください。



③ストライプパネル上棧・下棧を両端から同ピッチで切断してください。

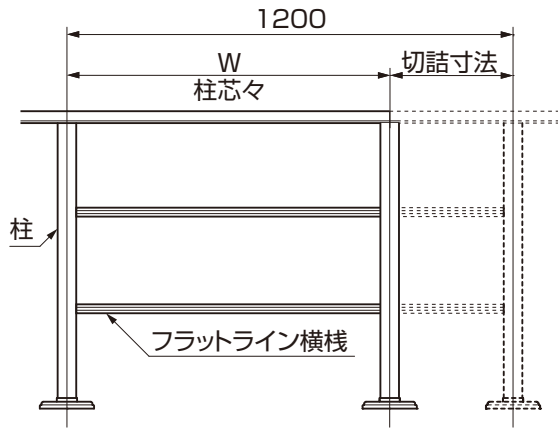
ポイント

- ストライプパネルの切詰めは以下の通りにしてください。
 - ・両端 : 86mm
 - ・両端以外 : 110mmピッチ

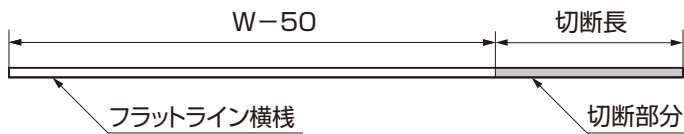
④加工後、再度組立ててください。

11. (つづき)

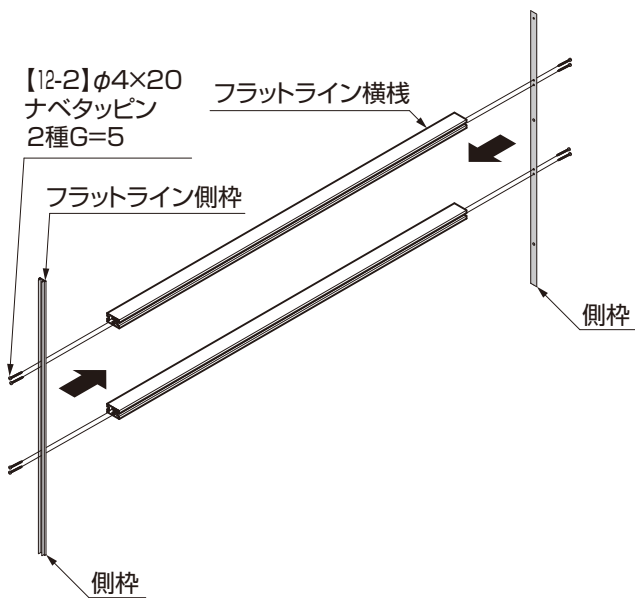
11-2 フラットラインパネルの幅切詰め



① 切詰める寸法の柱ピッチを実測してください。

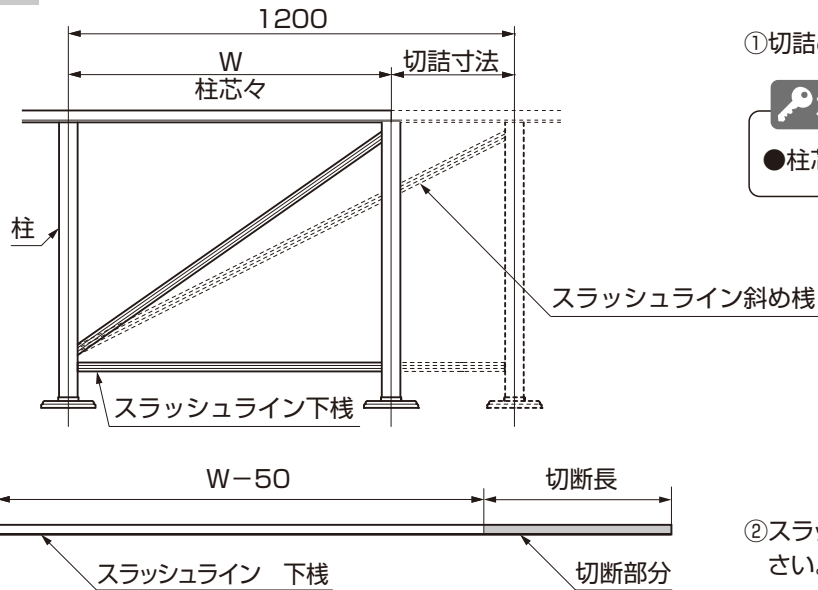


② フラットライン横棧を切詰寸法で切断してください。



③ 「5. フラットラインパネルの取付け」を参照して組立ててください。

11-3 スラッシュラインパネルの幅切詰め



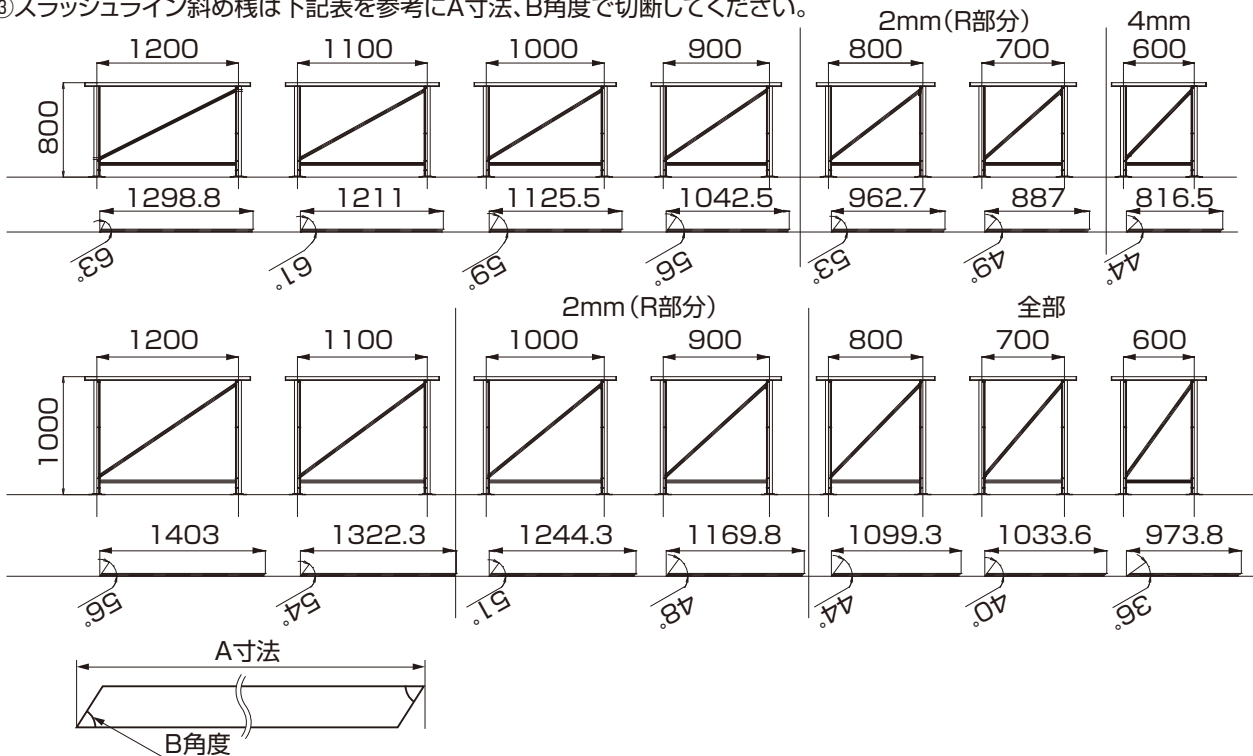
①切詰める寸法の柱ピッチを実測してください。

ポイント

●柱芯々W=600mmが最小です。

②スラッシュライン下棧を切詰寸法で切断してください。

③スラッシュライン斜め棧は下記表を参考にA寸法、B角度で切断してください。



T-8

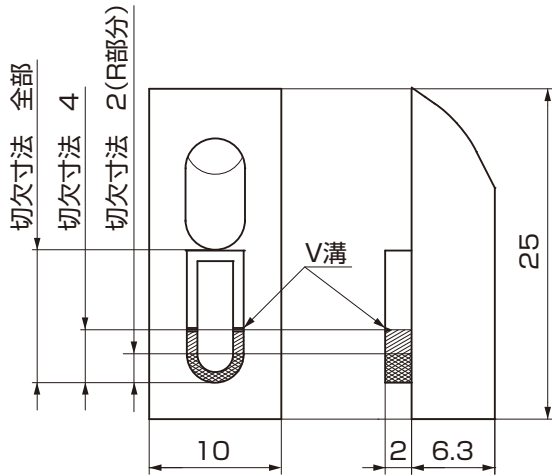
W	A 寸法	B 角度	ネジ座B切欠寸法
1200	1298.8	63°	—
1100	1211	61°	—
1000	1125.5	59°	—
900	1042.5	56°	—
800	962.7	53°	2(R部分)
700	887	49°	2(R部分)
600	816.5	44°	4

T-10

W	A 寸法	B 角度	ネジ座B切欠寸法
1200	1403	56°	—
1100	1322.3	54°	—
1000	1244.3	51°	2(R部分)
900	1169.8	48°	2(R部分)
800	1099.3	44°	全部
700	1033.6	40°	全部
600	973.8	36°	全部

11. (つづき)

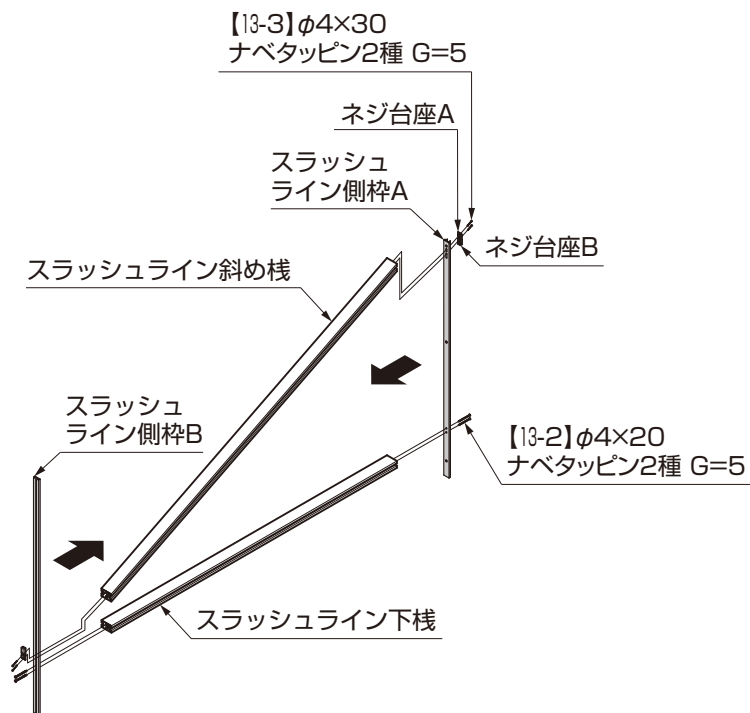
④ネジ台座Bは 11-3 ③の「ネジ台座B切欠寸法」を確認して必要があれば下図を参照の上、斜線部を切欠いてください。



ポイント

- ネジ台座Bの切欠寸法はR部先端からの寸法です。

⑤加工後、「4.スラッシュラインパネルの取付け」を参照して組立ててください。



取説コード

E291

JZZ618158C
200902A_1041
201607D_1039